

西岡 見聞録

ヒグマの足あとには、5本の指のあとが付きます。



2017(平成29)年
如月 February
2月 No. 254

前足は平べったく
後足は人間のよう
に縦長

私たちが暮らす札幌市は、市域人口が約200万人となる政令指定都市でありながら、市内の山間部だけではなく、市街地にもヒグマが出没します。皆さんも毎年住宅街での目撃情報をニュースなどで耳にし、心配されているのではないでしょうか？過去には西岡公園内でもヒグマの目撃情報がありました。野生動物やヒグマとの共存を目指し、知っているようで知らないかったヒグマのことを一緒に学びませんか？

【ヒグマの体】

オス：体長約2.0m
体重約150～400kg
メス：体長約1.5m
体重約100～200kg

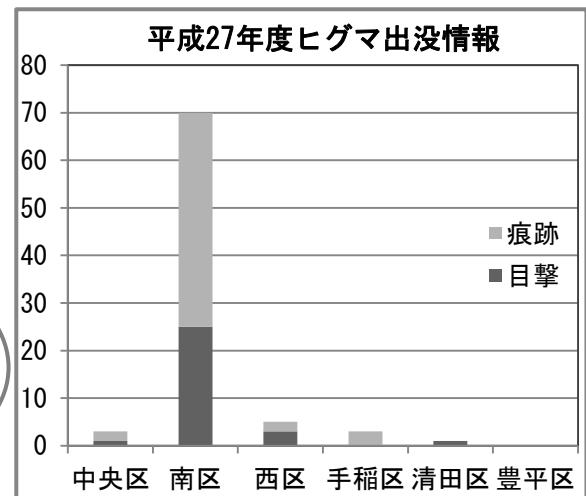


意外と頭が良いらしい…美味しいものなら味だけじゃなくて、場所も覚えててしまうよ。

目はあまりよくないけど、鼻と耳がすごく利く！

2本足で立ちあがっているけど、威嚇している訳じゃなくて、匂いや音から様子をうかがっているだけだよ。

最高時速50kmで走る！
ちなみに人間が100mを12秒で走ると、時速約30kmになります。



平成27年4月～平成28年3月
札幌市のヒグマの目撃、痕跡情報の件数。
豊平区は0件でしたが、西岡公園からも近い南区では70件もの情報がありました。

【ヒグマはどんな生活を送るのか？】

春、4月頃冬眠から目覚め、ザゼンソウやフキなどを食べ始めます。夏にはセリ科の植物の他にアリやザリガニなども食べます。ヒグマは雑食性で、その時期に最も手に入りやすい食べ物を大量に食べるのです。6～7月になると繁殖期を迎えます。秋にはクルミやドングリなどを食べますが、ヒグマは食べ物を上手に消化できないので、クルミの殻などはそのままの形でウンに混ざって出てきます。冬眠に向けて栄養をたっぷり蓄え、12月頃から冬眠、出産します。

【ヒグマだって人間が怖い！】

ヒグマの多くは、人と出会わないように用心しながら行動しています。目撲されるヒグマのほとんどが若い親離れしたばかりのヒグマで、多くの場合ヒグマの方が先に立ち去ります。実はヒグマも人間を恐れているのです。ヒグマに出遭わないように私たちに出来ることは、ヒグマの生態や行動習性を正しく理解し、事前にヒグマの最新情報を調べたり、鈴やホイッスルなどを持ち歩き、ヒグマに人間がいることを知らせることも有効です。そしてヒグマの痕跡（ウンや足跡）を見つけたら、すみやかに引き返すことが大切です。

もし、ヒグマに出遭ってしまったら・・・大声を出したり、走って逃げてはヒグマを刺激してしまい逆効果になります。慌てず、騒がず、落ち着いて状況を判断しましょう。ヒグマのことをよく知り、出遭わない、引き寄せないようにすることで、事前に事故を防ぐことができます。

参照：さっぽろ市 ヒグマパネル展

西岡公園を楽しむ情報誌「西岡見聞録」 ★発行：(公財)札幌市公園緑化協会 西岡公園管理事務所

〒062-0039 札幌市豊平区西岡487-2 ■電話：011-582-0050 ■<http://www.sapporo-park.or.jp/nishioka/>

にしおかプレーパーク

西岡公園ボランティア団体・遊木森森（ゆうきもりもり）

どんなところ？

にしおかプレーパークは、「大好きな西岡公園でもっとのびのびと遊んでほしい！！」と2011年から2年間公園管理者が主催で行っていたものを、2013年から地域のお母さんたちで「遊木森森（ゆうきもりもり）」という団体をつくり、多くのボランティアさんや地域の方の協力を得て年6回ほど開催しています。子どもたちの「やってみたい！」という気持ちを大切にして、行政と公園管理者と調整しながら進めています。

「プレーパーク」とはどんな場所でしょう？

子ども達が「自由なあそび」をつくる場。禁止するのではなく、自分で考え想像してやってみる。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにやりたい事を思い切りできる場所。木登り、ロープ遊び、たき火や泥んこ遊び、自然の素材を使ったままごと、木工作や秘密基地づくり・・・西岡公園の四季折々の自然を感じながら遊びをつくりだします。私たちメンバーやプレーリーダーは見守り、遊びを引き出せるようサポートします。

また子どもたちはもちろん地域の大人も集まっておしゃべりをしたり、おいしいものを食べたり、子どもに昔の遊びを教えたり、楽しめる場所もあります。

次回のプレーパークは、2月25日（土）10時～14時西岡公園とパークヒルズの間で開催されます。

冬のプレーパークは、子どもたちが「一番楽しい！！」というぐらい盛り上がります。西岡南小おやじの会のお父さんたちが盛り上げてくれる宝探し、イグルーや雪だるまつくり、ブルーシートにみんなで乗って坂を滑ったり、たき火もあります。ぜひぜひみんな雪だらけになって遊びましょう！！大人の方もぜひ一度子どもたちの笑顔をのぞきに来て下さい！！マシュマロなど焼きたいものを持ってくるといいでですよ！！もちろんサポートのメンバーも大募集中です。



プレーパークは定期的に開催されますので、詳しくは西岡公園管理事務所までお尋ねください。次回の見聞録では3月11日（土）に開催されるスノーキャンドルについてお伝えする予定です。お楽しみに！

～～西岡公園で2月に見られる野鳥たち～～

（日本野鳥の会 札幌支部 HPより 2016.2.7に確認した野鳥）

- | | | |
|--------|----------|---------|
| ・トビ | ・ハシブトガラス | ・ゴジュウカラ |
| ・オジロワシ | ・ハジブトガラ | ・キバシリ |
| ・コゲラ | ・ヤマガラ | ・カワガラス |
| ・アカゲラ | ・シジュウカラ | ・スズメ |
| ・クマゲラ | ・ヒヨドリ | |
| ・カケス | ・エナガ | |

※破線の木道が通行止めになっています。

※東側の木道は積雪のため滑りやすく、また、木道下の水路が深く大変危険な状態になっています。冬期間通行止めにさせていただいているので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

管理事務所南側に冬期間臨時駐車スペースを設けています。

冬期間駐車スペースが限られます。なるべく公共交通機関でお越しください。

西岡公園管理事務所
開館時間 9:00～17:00
休館日 火曜日（4月～11月）
火・水曜日（12月～3月）
お問い合わせ 011-582-0050

【エナガ目撃情報】
この時期、北海道外の方や来園者からも問い合わせの多いエナガ。北海道にいるエナガはシマエナガといって、その姿は「雪の妖精」と言われるほど可愛らしく人気があります。丸で囲んだ場所で今シーズン目撃されています。

挽きたてのコーヒー（1杯100円）
澄川の「菓子工房 fika.」のビスケット、木エクラフト品などを販売しています。
西岡公園を紹介する展示を眺めながら、ほっこり一息つくのはいかがでしょうか？